

算数（帰国生入試Ⅰ期）

2026 年度入試のねらいと出題方針

出題方針

入学後に数学を学んでいくために必須となる算数の能力を問う出題をします。

具体的な作問の方針

基本的な知識を問う問題は、計算・数の性質・比・図形・文章題などの分野から、できるだけ偏りなく出題します。応用力を問う問題は、解法の流れを組み立て、必要な情報を見極めながら筋道を立てて解答を導き出す力を問う問題を出題します。

標準的な問題を中心とし、特別な知識やテクニックは問いません。

形式や難易度は、昨年と同様です。

解答を進める上でのアドバイス

全体の配点の割合は、[1]の小問の配点が大きくなっていますので、基本問題を確実に正解できるよう準備をしましょう。（中学入試向けの算数の基本～標準的な問題集を繰り返すとよいでしょう。）解答用紙に「求め方」を書く形式も出題します。これはたとえ正解までたどり着けなくても、どれだけ正解に近づいていたのか、受験生の力をみるためのものです。問題集などの模範解答のような、きれいな解答の書き方を求めているわけではありません。答まで求めることができなくても、途中式や計算過程などを解答用紙に書き残してください。また、図や言葉で表現してもかまいません。解答の方針が正しければ部分点を与えています。

採点基準と配点について

帰国生入試Ⅰ期：試験時間 30 分、配点 50 点

[1] 小問集合 8～10 問程度 配点 60%程度

[2]以降 大問形式 各問題に 2～3 問の小問 「求め方」を記述する問題あり